

HOLOGIC[®]



The Science of Sure

パンサーシステムとAptima[®] SARS-CoV-2のご紹介

2020年6月

ホロジックジャパン株式会社

ダイアグノスティックスソリューションズ事業部

PCR検査拡大に向けたAptima® SARS-CoV-2の役割

コロナ対策としてPCR検査数の更なる拡大は必須

PCR検査数の拡大に向けた課題

- PCR検査処理能力の限界
 - 手間がかかり、人と設備が不足
- 検体採取時の感染リスク(医療従事者)
- 製品の供給不足
- 検体輸送のキャパシティ不足

Aptima® SARS-CoV-2の役割

- **完全自動化**で処理能力を向上(1,000テスト/日)
 - 前処理不要/検査安全レベル向上
- **新しい検体チューブ**による感染リスクの低減
- 製品の必要量を可能な限り確保に努める
- 検体輸送の梱包を簡素化

PANTHER®

PCR検査拡大に向けたAptima® SARS-CoV-2の役割

完全自動化の装置



パンサーシステム

届出番号: 13B1X10179002001

新しい検体チューブ



Aptima® Multitest
スワブ採取セット

届出番号: 13B1X10179002006

研究用試薬

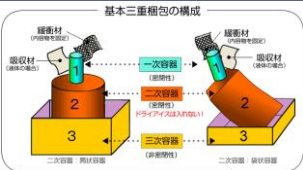


Aptima® SARS-CoV-2

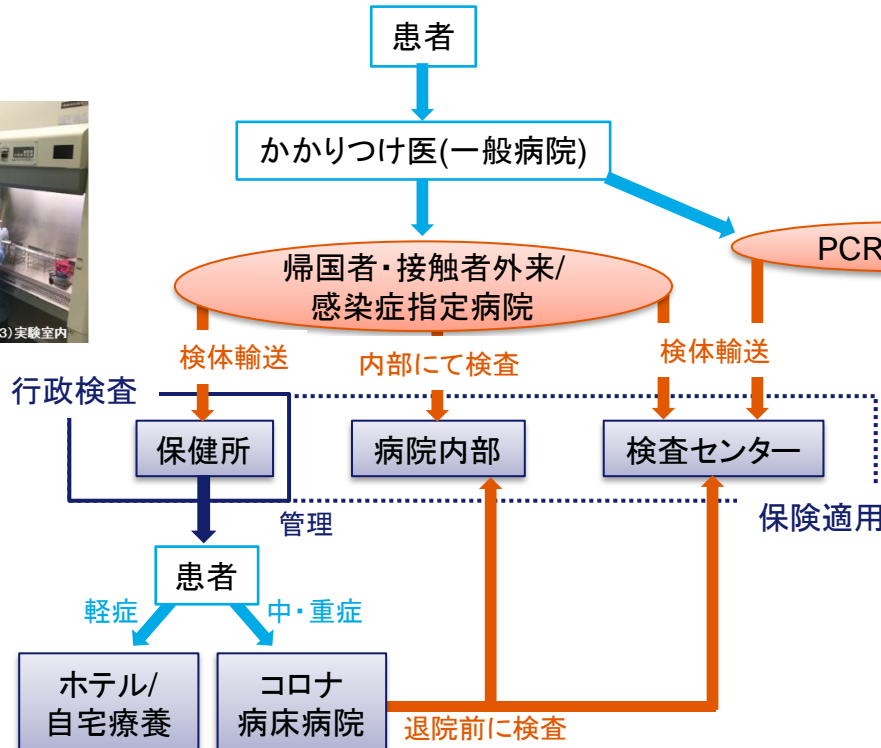
HOLOGIC®

HologicはCOVID-19検査における課題解決に寄与します

PANTHER®



COVID-19の検査フロー



検体取扱時の感染リスク

- 基本三重梱包による検体拡散の防止
- 検査従事者の安全管理の上での検査体制



検体の取り扱いや輸送に
手間がかかる

検体採取時の感染リスク

- 保護マスク(N95)やPPE手袋、ゴーグルなどの着用
- 院内感染による医療従事者の不足



検体採取に時間や設備が必要

HOLOGIC®